



日本共産党江東区議団長 あぜがみ みわこ

あぜ上 三和子

倍するじ支援を



前都議会議員 東 ひろたか
初めて都議会に出して
ただいから四期を含め28年
間、皆様の暖かいご支援にお礼を申しあげ
ます。

このたび、あぜ上三和子区議団長が都議
候補となりました。若者の雇用に胸を痛め、
子どもや高齢者・障害者のために一途に尽
力しているあぜ上三和子さんに、みなさま
の倍するお力添えを心からお願います。

心やさしい行動力抜群の人



党区議団幹事長 齋藤 信行
■畔上さんとは21年間、区議会
で一緒に仕事をしてきました。誰にでも好かれ
る人柄と人間性は他党の議員や区の理事者から
も尊敬されているほどです。

議会論戦では住民の声を代弁し、説得力と粘
り強さで多くの区民要求を実現してきました。
各委員会の委員長を歴任するなど、都議会で
も必ず区民の期待に応えられる政治家です。

日本共産党江東区委員会は、09年東京都議会議員選挙の予定候補者を発表しました。政策と活動をご紹介します。

石原暴走都政にストップ! いのちとくらし第一

- ◆憲法を都政に生かします
- ◆オリンピックを口実にした大開発をやめさせます
- ◆税金のムダ遣い、都は銀行業から撤退を
- ◆墨東病院は都立のまま存続させます
- ◆築地市場移転に反対し、食の安全を守ります
- ◆どの子ども大切に作る30人学級を東京にも
- ◆後期高齢者医療制度は撤廃しかありません

お年寄りの、いのちとくらしにかかわる医療費を削減するために、負担増や差別医療を強いる世界に類のないこの制度は、将来にわたって国民を苦しめることとなります。私は見直しではなく撤廃し、みなさんと安心出来る医療制度をつくるために全力を尽くします。



いま石原

いま石原都政は「新銀行への税金投入」「オリンピックを口実にした大型開発」などの一方で、医療や介護・福祉や教育を切り捨てる「弱い者いじめ」の政治を続けています。
私はみなさんのご支援でくらしの声が生きる江東区をめざして、六期目の区議会議員として活動しています。いまこそ石原都政に正面から対決し、「くらし第一の都政を」とはっきりいえる日本共産党の議席の重みを痛感しています。「江東区民の声を都政に届ける議席がほしい」この思いをしっかりと受けとめ、負託を受けた区議会議員の仕事に全力をあげるとともに、さらに都政革新にがんばります。

プロフィール
●1987年江東区議会議員に初当選、現在日本共産党江東区議団長、江東区委員会副委員長。議会では医療・介護保険制度特別委員会委員長、文教委員。
●1955年東京中野区生まれ。家族は夫、長男（高3）
趣味、キャンピング・映画鑑賞。

こうとう民報
2008年5月号外

発行 とうとう民報編集委員会
責任者 今井 栄一
所 江東区亀戸7-39-1-501
話 3648-5155 FAX3648-5137
住 電
ホームページ
http://www.koto-mirpo.jp/

区議6期、みなさんと実現

□子どもたちのすこやかな成長をねがって

- 子どもの医療費助成、中学3年生までの医療費の無料化が実現
- 全普通教室にクーラーを設置
- 認可保育園を増設
- 妊産婦検診の助成を14回まで無料に
- 里帰り出産は5万円限度に支給



区議会史上初の議員出産。2期目は授乳しながらの選挙

□安心・安全なまちづくり

- 学校や公共施設、橋の耐震化の促進
- マンション・木造住宅の耐震化に助成
- エレベーター設置など駅のバリアフリー化



耐震工事が完了した深川小を視察するあぜ上議員

□公正で開かれた区政めざし



政務調査費問題で議長に申し入れする区議団

- 税金での飲み食いストップ!
- 政務調査費に領収書添付
- 委員会傍聴の人数を拡大



私の原点は福祉の現場

私は福祉施設と保育室の保育士として働き、障害者や子どもたちに「人として生きる」原点を教えてもらったと思います。そしてそのかけがえのない一人ひとりを大切に政治を求めて日本共産党に入りました。福祉の後退許さず、誰もが安心して生きていけるような政治の実現に、いっそう頑張ります。



代表質問をするあぜ上議員

□高齢者、障害者・児にやさしい社会を



右上は障害者施設で働く若き日のあぜ上さん。左は介護施設を訪問、入所者の要望を聞く

- 特別養護老人ホーム建設
- 介護保険料・利用料の軽減
- 障害者・児施設への助成拡大

□営業とくらしを守って

- 公共事業での労働条件改善のための公契約条例制定の意見書採択
- 区発注の工事・物品の区内発注業者優先、分離分割発注の拡大
- 地域経済活性化条例制定



函館市役所土木部から公契約問題の聞き取り

区民の声を都政に届けます